

TSURUOKA ROTARY CLUB

国際ロータリー第2800地区 鶴岡ロータリークラブ

平成20年2月26日(火) 第2398回(本年度第30回)例会

●創立 昭和34年6月9日 ●例会日 毎週火曜日(12:30~13:30) ●例会場 東京第一ホテル鶴岡 鶴岡市錦町2-10

ROTARY SHARES
ロータリーは分かちあいの心例会に出席し
友情を深めよう

本日の卓話 (2/26)

健康保険と年金記録問題

社会保険労務士 三浦 洋氏

2月19日(第2397回)例会報告

点鐘

ロータリーソング「四つのテスト」

卓話:ゲストスピーチ

中国チベットヤラジャンボ登山隊長 稲泉真彦氏

会長報告 副会長 富樫 松夫

2/7、白幡さんの送別会が親睦委員会主催で開催され、本人を含め24名と沢山の方達より参加いただき、有難うございました。白幡さんが健康に留意され、活躍されるようご祈念申し上げます。

◆会長ショートスピーチ

2月14日はバレンタインデーで日本ではチョコレート合戦となる日ですが、海外では古くから親しい間柄の人たちが男女を問わず、花やキャンディー、カードなどの贈り物を交換する日として親しまれているそうです。今日はバレンタインデーとホワイトデーのルーツを探ってみたいと思います。

そもそもルーツは古代ローマ時代の祭りルペルカリアに由来します。当時は荒々しい狼たちが森の中で徘徊しており、人々はその狼たちから身を守るようにルペルカウスという神をうやまい、たたえる祭典を毎年2月15日に催していました。当時若者の間で「名前くじ」が流行しており、2月15日の前夜、年頃のレディーたちは自分の名前を紙に書き、用意してあるポットの中に入れ、殿方が一人ずつくじ引きをするようにポットから紙を取り出すと引き当てられた女性はその年の彼の恋人となるのです。

ヴァレンタインという名前は、実はキリスト教が新派であった時代のローマ帝国に捕らえられていた囚人の名前です。当時の帝王クラウディウスIIは

次回の卓話 (3/4)

ゲストスピーチ

山形大学教授 西澤 隆氏

ローマ軍に属する兵隊たちは結婚や婚約をしてはいけないとしていました。兵士らが結婚し家庭を持つと、戦争よりも家庭に引きこもってしまうと恐れたのです。ヴァレンタインはその掟を破り、ひそかに結婚してしまったため捕われの身となり、ルペルカリアの祭りの前夜、2月14日に処刑されました。彼の死後、ヴァレンタインには「聖」が送られました。その頃までにはすっかりキリスト教の布教が進んでいたからです。2月15日のルペルカリアの祭典もいつのまにか2月14日に移され、今日ではルペルカリアの祭りとしてではなく、聖ヴァレンタインをたたえる祭りとされているのです。

英国のバレンタイン商戦は、チョコレートではなく、お花、カード、お菓子なのです。花屋が一番恐ろしい時期は母の日、次はクリスマス、そしてバレンタインデーのようです。

バレンタインデーは各国でいろいろと違う習慣がありますが、一つだけ言えるのは、ビジネスとしていつのまにか宗教関連の日まで利用されているという事はどこの世界でも同じようです。

幹事報告

①ソロプチミスト鶴岡認証20周年記念式典ご案内

日時:4/19(土) 場所:東京第一ホテル鶴岡

式典:10:30~ 祝宴12:30~ 締切:3/20

②多地区合同スプリングキャンプ参加のお願い

日時:3/23(日)~25日(火) 2泊3日

場所・裏磐梯高原ホテル 締切:2/20

③交換留学生ガブリエルさんのご両親来鶴について

④山形北RC創立40周年記念式典のご案内

日時:3/29(土) 会場:山形オーヌマホテル

会長

真島吉也

副会長

富樫松夫

幹事

本間昭吉

会報委員会

事務局

青柳孝治 佐々木畠彥

鶴岡市馬場町11-63 産業会館3階

TEL:0235-28-3375 FAX:0235-28-3376

登録 1:00 記念講演 2:00 ~ 記念式典 3:45 ~

登録料：10,000 締切：3/10

⑤青少年交換留学生オリエテーションについて

日時：2/27（水）午後 6:00

会場：スカーゼ 締切：2/25

⑥ロサンゼルス国際大会登録者数のアンケートのお願い

- ・保健および飢餓救済支援プログラム関連奉仕活動アンケート 締切：2/22

卓話**チベットの人々の心**

中国チベットヤラシャンポ登山隊長 稲泉真彦氏

私は7年前に山形県山岳連盟50周年記念ということで、中国のヤラシャンポという山に登りました。きっかけは10年前に初めて中国で登山をした時に一番最初にガイドについてくれた青年の紹介でした。その登山の際に私達の日本の話や教育の話などに感銘をうけ、自分の実家に招待してくれて、それからのつきあいで、また中国の山を紹介してもらいました。その中の1つがヤラシャンポでした。そしてまた、この地区のチベット人が考えている生き方、自分は幸せだという、モノや力にこだわらないで精神的に生きる幸せ、それを何とか自分もやればなという思いもありました。



この山は地元では神様が降下する、天から降りてくる山とされていて聖山です。そこに行くのに私達は2年間、低酸素などの訓練をしました。低酸素中では猛烈な頭痛がおきたり、自分の体がどうなるのか、また狂犬病の予防接種、薬の勉強などをしました。山に登って命や手足を失うというのは間違いで、登るには難しいが安全性が高いルートで登りました。日数もギリギリのところでやっと登りきることができました。

チベット仏教は日本と同じ大乗仏教ですが、信仰心は日本人の比ではなく、輪廻転生を感じています。巡礼を終えた人達の写真を撮らせてもらったが、その後彼らは私達に手を差し出してきました。彼らは豊かな人たちからモノをもらうのは当たり前だと思っていて、遠くから巡礼にきても、それはお金があつてくるのではなく、そこで皆さんからごちそうになつたり泊めてもらったり、何とか旅費を調達して帰っていくという信仰心の厚い人たちです。ですから例え行き倒れになってもそれが幸せ

で、来世もまた幸せな人間に生まれ変わりたいと願っています。人々はとにかく明るくてくったくがなく、自分は幸せだと思います。日本人は外から見たら本当に豊かな人たちに見えますが、自分を幸せだと、豊かだと思っている人は極めて少ないです。彼らはボロボロで汚い服を着ていても「幸せだ」と言うのですから、その違いが大きいです。

チベットのラサはどんどん発展していて食べ物なども日本にある野菜はほとんどあり、道路も舗装できれいになっています。ただ野菜などは農薬とか成分の方は、覚悟していかなければなりません。

家内と巡礼に行った時にガイドについてくれた21歳の女性は、「私は幸せだ」が口ぐせでした。彼女は貧しくて山の奥で暮らしていたのですが、優秀だったので、国からの援助で大学まで出て、きちんとお金を稼げるようになりました。自分の収入の2割以上を恵まれない人たちや、お坊さんに寄付します。「あなたの分がなくなる」と言うと、「やってるんじゃなくて、もらってもらっているのだ」と言うのです。来世もまたこんな幸せな人間に生まれ変わりたいから、もらってもらっているのだということです。21歳の女性で、ボロボロで穴があいた服を着ながらも、そういう気持ちで生きている人たちというのは、私達の世界では考えられないようなことですが、私もそれは理想であって、それは言いながらも簡単には出来そうにないのです…。

委員会報告**・・スマイル・・**

| | | | | | |
|----|-----|----|-----|----|-----|
| 富樫 | 松夫君 | 加藤 | 功君 | 青柳 | 孝治君 |
| 吉野 | 隆一君 | 塚原 | 初男君 | 佐藤 | 孝子君 |

出席委員会**・・出席報告 (2/19)・・**

| 会員数 | 出席 | 出席率 | 前々回 確定出席率 |
|-----|-----|--------|--------------|
| 45名 | 30名 | 71.43% | 90.48% |

●メイクアップされた方

| | | | | | |
|----|------|-----|-----|----|------|
| 阿部 | 純次君 | 阿部 | 信矢君 | 足立 | 篤司君 |
| 榎本 | 政規君 | 藤川 | 享胤君 | 秦 | 幸助君 |
| 樋渡 | 美智子君 | 本間 | 厚君 | 本間 | 昭吉君 |
| 加藤 | 賢君 | 丸山 | 隆志君 | 松井 | 亨君 |
| 迎田 | 健君 | 佐々木 | 皓彦君 | 富樫 | 松夫君 |
| 若生 | 恒吉君 | 田中 | 豊君 | 青柳 | 孝治君 |
| 本間 | 喜美子君 | 加藤 | 恒介君 | 石田 | 雄君 |
| 樺野 | 隆博君 | 加藤 | 功君 | 真島 | 吉也君 |
| 御橋 | 義諦君 | 越智 | 茂昭君 | 斎藤 | 昭君 |
| 佐藤 | 孝子君 | 佐藤 | 友行君 | 富田 | 喜美子君 |
| 塚原 | 初男君 | | | | |